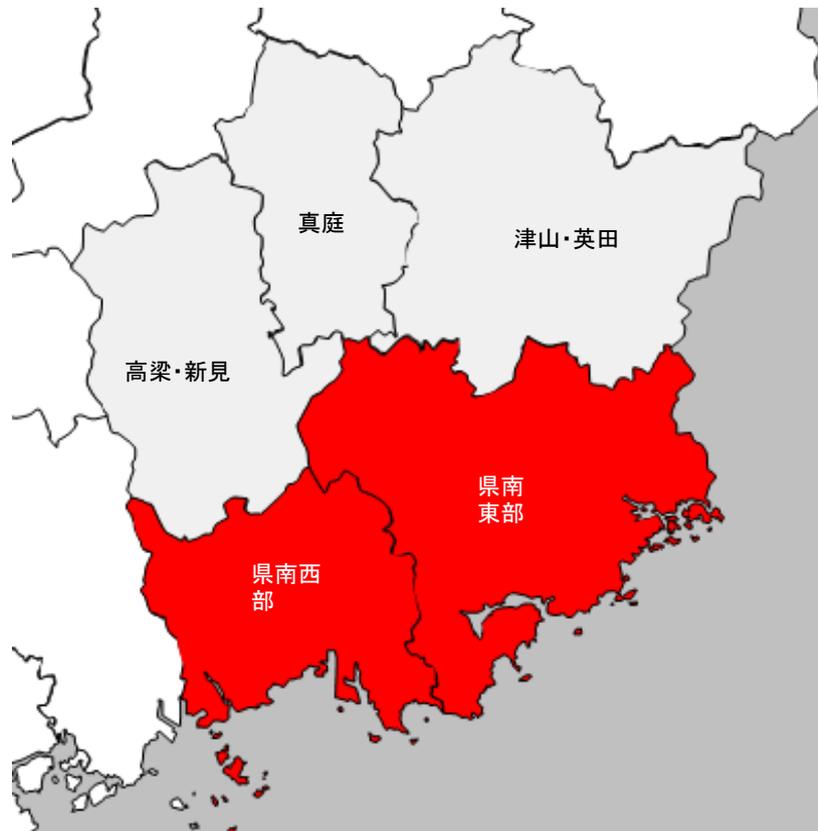


33. 岡山県



3 3 岡山県

A. 医療提供体制の現状

岡山県の特徴は、(1) 人口当たりの潤沢な医療資源、(2) 沿岸部への医療資源の集中、山間部の医療過疎である。

(1) 人口当たりの潤沢な医療資源

全県を通しての人口当たりの病床数の偏差値が 56、一般病床が 61、総医師数が 55 (病院勤務医数 56、診療所医師 51)、総看護師数が 57、全身麻酔数 50 と、高水準である。

(2) 沿岸部への医療資源の集中、山間部の医療過疎

医学部のある県南東部(岡山)、県南西部(倉敷)は、一般病床、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数ともに 55 を超え高水準であり、日本を代表する医療の充実した地域の一つであり、同時に過剰感も強い。

一方、山間部の高梁・新見、真庭、津山・英田は、病床数と看護師数は全国平均を超えるが、病院勤務医数と全身麻酔数が少ない。真庭、津山・英田は県南東部(岡山)への、高梁・新見は、県南東部(岡山)、県南西部(倉敷)への依存度が高い。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(県南東部)

県南東部(岡山)は、人口約 92 万人、面積 1,900/km²、人口密度は約 490 人/km²の地方都市型二次医療圏である。県南東部には、岡山大学(891 床、全麻 4,000 件以上)、年間 3,000 件以上の全麻を行う岡山医療センター(DPCⅡ群)、年間 2,000 件以上の岡山赤十字病院(救命救急)、があり、岡山県の医療提供の拠点として、真庭、津山・英田、高梁・新見などの岡山県山間部から、多くの患者が集まってくる。また、全麻年間 2,000 件以上の岡山済生会総合病院、年間 1,000 件以上の岡山労災病院などもあり、急性期医療機関の密集地域である。

人口当たりの総病床数の偏差値は 58 (一般病床 67、療養病床 46、精神病床 54)、総医師数が 58 (病院勤務医数 59、診療所医師 55)、総看護師数 58、全身麻酔数 54 高レベルの医療提供体制であり、現在でも過剰感が強い。総高齢者ベッド数も偏差値 59 と、高レベルである。

現在の岡山県全体と県南東部の医療資源供給レベルの高さと、2010→40 年の県南東部の 0-64 歳の医療需要が 25%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後更に強まっていくことが予想される。医師養成数の適正化と県南東部で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。また、県南東部の 75

歳以上医療需要の43%増が予想されるため、高齢者用の施設や住宅の増強、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

(県南西部)

県南西部(倉敷)は、人口約71万人、面積1,123/km²、人口密度は約640人/km²の地方都市型二次医療圏である。倉敷には、川崎医科大学(1,182床、全麻4,000件以上、救命救急)、年間全身麻酔6,000件を超える倉敷中央病院(救命救急、DPCⅡ群)、年間1,000件以上の全麻を行う倉敷成人病センターがあり、岡山県の医療提供の拠点であり、高梁・新見などの岡山県山間部や広島県東部からも、多くの患者が集まってくる。

人口当たりの総病床数の偏差値は54(一般病床60、療養病床51、精神病床47)、総医師数が55(病院勤務医数58、診療所医師47)、総看護師数57、全身麻酔数48と、充実した医療提供体制であり、現在でも過剰感が強い。総高齢者ベッド数は偏差値56である。

現在の岡山県全体と県南西部(倉敷)の医療資源供給レベルの高さと、2010→40年の県南西部の0-64歳の医療需要が27%減を考えると、県南東部以上に急性期医療の提供能力の過剰感が今後更に強まっていくことが予想される。医師養成数の適正化と県南西部で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。また、県南西部の75歳以上医療需要の42%増が予想されるため、高齢者用の施設や住宅の増強、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

(高梁・新見)

岡山県西部の山中に広がる高梁・新見の人口は約7万人であり、面積1,340/km²、人口密度は約50人/km²の過疎型二次医療圏である。1,000km²を超え、人口密度も100人/km²以下であり、拠点病院までの移送が大変な地域を抱える医療圏である。地域には高梁中央病院などがあるが、全身麻酔数100件を超える病院は地域内に無く、岡山と倉敷への依存が非常に強い。

人口当たりの総病床数の偏差値は56(一般病床47、療養病床63、精神病床54)、総医師数が43(病院勤務医数43、診療所医師44)、総看護師数49、全身麻酔数31であり、一般病床と看護師数が多く、病院勤務医数と全身麻酔数が少ない過疎型地域に多いパターンである。

2010→40年の0-64歳の医療需要が47%減、75歳以上の医療需要が17%減することを考えると、地域内の医療機関の集約と地域内ネットワークの強化が必要があるだろう。また県南部からの支援の強化や、ドクターヘリを含む県南部との連携の強化することにより医療機能を維持することが求められる。

(真庭)

岡山県西部の山中に広がる真庭の人口は約5万人であり、面積869/km²、人口密度は約60人/km²の過疎型二次医療圏である。年間全身麻酔100件を超える金田病院があるが、岡山への依存が非常に強い。

人口当たりの総病床数の偏差値は60(一般病床57、療養病床60、精神病床57)、総医師数が46(病院勤務医数48、診療所医師43)、総看護師数58、全身麻酔数34と、一般病床と

看護師数が多いが、全身麻酔数が少ない。

2010→40年の0-64歳の医療需要が41%減、75歳以上の医療需要が8%減することを考えると、地域内の医療機関の集約と地域内ネットワークの強化が必要があるだろう。また県南部からの支援の強化や、ドクターヘリを含む県南部との連携の強化することにより医療機能を維持することが求められる。

(津山・英田)

岡山県東部の津山盆地を中心に広がる津山・英田は人口約19万人、面積1,848/km²、人口密度は約100人/km²の過疎型二次医療圏である。年間全身麻酔1,000件を超える津山中央病院(救命救急)があり、更に高度医療が必要な場合は、岡山や倉敷までの移送が必要になる。

人口当たりの総病床数の偏差値は52(一般病床46、療養病床57、精神病床53)、総医師数が47(病院勤務医数45、診療所医師50)、総看護師数53、全身麻酔数41と、過疎地域としては比較的医療資源が充実している。

2010→40年の医療の総需要が16%減、0-64歳が37%減、75歳以上が0%である。また県南東部からの支援の強化やドクターヘリを含む県南東部との連携の強化も必要である。

表 33-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
岡山県	1,945,276	21位	7,106	17位	273.7		25%	-17%	31%
県南東部	921,716	47%	1,900	27%	485.2	地方都市型	23%	-14%	43%
県南西部	714,202	37%	1,123	16%	636.0	地方都市型	24%	-16%	42%
高梁・新見	68,833	4%	1,340	19%	51.4	過疎型	35%	-39%	-17%
真庭	49,921	3%	896	13%	55.7	過疎型	34%	-34%	-8%
津山・英田	190,604	10%	1,848	26%	103.2	過疎型	29%	-29%	0%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 33-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
岡山県	174	2.0%	8.9	56	1,622	1.6%	83	53
県南東部	82	47%	8.9	55	853	53%	93	58
県南西部	57	33%	8.0	53	492	30%	69	45
高梁・新見	9	5%	13.1	66	66	4%	96	59
真庭	8	5%	16.0	73	43	3%	86	54
津山・英田	18	10%	9.4	57	168	10%	88	55
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 33-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
岡山県	29,382	1.9%	1,510	56	2,906	2.3%	149	55
県南東部	14,973	51%	1,624	58	1,323	46%	144	54
県南西部	9,975	34%	1,397	54	952	33%	133	53
高梁・新見	1,033	4%	1,501	56	63	2%	92	49
真庭	847	3%	1,697	60	82	3%	164	56
津山・英田	2,554	9%	1,340	52	486	17%	255	65
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 33-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所 施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
岡山県	1,622	1.6%	83	53	1,431	1.6%	74	52	191	1.9%	9.8	53
県南東部	853	53%	93	58	759	53%	82	57	94	49%	10.2	54
県南西部	492	30%	69	45	431	30%	60	45	61	32%	8.5	51
高梁・新見	66	4%	96	59	60	4%	87	59	6	3%	8.7	51
真庭	43	3%	86	54	39	3%	78	54	4	2%	8.0	50
津山・英田	168	10%	88	55	142	10%	75	52	26	14%	13.6	59
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 33-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
岡山県	18,574	2.1%	955	61	4,853	1.5%	249	50	5,713	1.7%	294	51
県南東部	9,985	54%	1,083	67	1,645	34%	178	46	3,249	57%	352	54
県南西部	6,577	35%	921	60	1,893	39%	265	51	1,395	24%	195	47
高梁・新見	439	2%	638	47	354	7%	514	63	240	4%	349	54
真庭	425	2%	851	57	222	5%	445	60	200	4%	401	57
津山・英田	1,148	6%	602	46	739	15%	388	57	629	11%	330	53
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 33-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				全身麻酔件数			
	救急救命センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値*全国は標準偏差	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値*全国は標準偏差	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
岡山県	3	1.5%	1.5	50	7	1.9%	3.6	52	38,532	1.5%	1,981	50
県南東部	1	33%	1.1	48	4	57%	4.3	54	22,932	60%	2,488	55
県南西部	1	33%	1.4	49	2	29%	2.8	50	12,912	34%	1,808	48
高梁・新見	0	0%	0	43	0	0%	0	42	168	0%	244	31
真庭	0	0%	0	43	0	0%	0	42	240	1%	481	34
津山・英田	1	33%	5.2	66	1	14%	5.2	56	2,280	6%	1,196	41
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 33-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数				病院勤務医数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
岡山県	5,725	1.8%	294	55	3,819	1.9%	196	56	1,906	1.6%	98	51
県南東部	2,969	52%	322	58	1,955	51%	212	59	1,014	53%	110	55
県南西部	2,095	37%	293	55	1,477	39%	207	58	618	32%	87	47
高梁・新見	129	2%	187	43	75	2%	109	43	54	3%	78	44
真庭	109	2%	219	46	73	2%	145	48	37	2%	73	43
津山・英田	423	7%	222	47	239	6%	125	45	184	10%	96	50
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 33-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数				病院看護師数				診療所看護師数			
	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
岡山県	19,290	1.9%	992	57	15,992	1.9%	822	57	3,298	1.8%	170	54
県南東部	9,484	49%	1,029	58	7,911	49%	858	58	1,573	48%	171	54
県南西部	7,074	37%	991	57	5,799	36%	812	56	1,276	39%	179	55
高梁・新見	538	3%	782	49	463	3%	672	50	76	2%	110	46
真庭	518	3%	1,037	58	452	3%	906	60	65	2%	131	49
津山・英田	1,676	9%	879	53	1,368	9%	718	52	308	9%	161	53
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

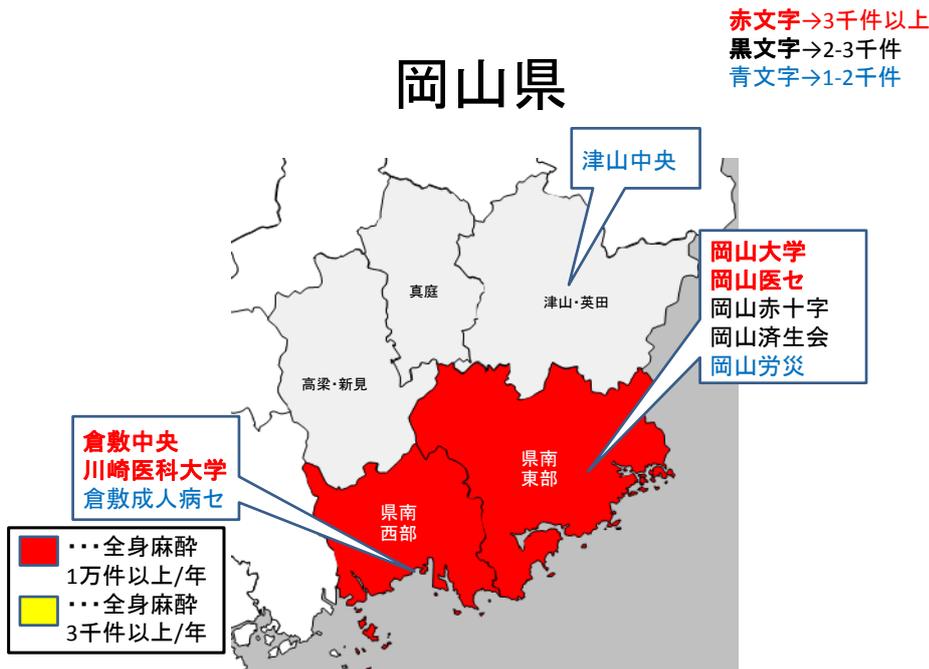
表 33-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
岡山県	1,846	1.9%	95	55	1,147	1.8%	59	52
県南東部	847	46%	92	54	467	41%	51	50
県南西部	765	41%	107	58	547	48%	77	56
高梁・新見	46	2%	67	48	0	0%	0	39
真庭	40	2%	80	51	0	0%	0	39
津山・英田	148	8%	78	51	133	12%	70	55
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病棟連絡協議会			

表 33-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
岡山県	313	2.2%	12.5	55	23	3.0%	0.9	56	130	1.9%	5.2	52
県南東部	185	59%	17.2	63	9	39%	0.8	55	61	47%	5.7	55
県南西部	79	25%	9.3	49	10	43%	1.2	60	43	33%	5.0	51
高梁・新見	8	3%	5.4	41	0	0%	0	41	5	4%	3.4	40
真庭	11	4%	10.8	51	1	4%	1.0	57	8	6%	7.9	70
津山・英田	30	10%	9.3	49	3	13%	0.9	56	13	10%	4.0	45
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			

図 33-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

表 33-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	総高齢者 住宅数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
岡山県	33,003	1.9%	132	55	17,129	1.8%	69	52	15,874	2.1%	64	55
県南東部	15,226	46%	142	59	7,619	44%	71	53	7,607	48%	71	58
県南西部	11,418	35%	134	56	5,749	34%	67	51	5,669	36%	66	56
高梁・新見	1,472	4%	99	41	955	6%	64	48	517	3%	35	41
真庭	948	3%	93	38	634	4%	62	46	314	2%	31	39
津山・英田	3,939	12%	123	51	2,172	13%	68	51	1,767	11%	55	50
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、その他の合計			

表 33-12 老人保健施設（老健）収容数、特別養護老人ホーム（特養）収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	350,538		25	(5.8)	501,495		36	(10.0)	84,714		6.0	(5.3)
岡山県	6,220	1.8%	25	50	9,913	2.0%	40	54	996	1.2%	4.0	46
県南東部	2,795	45%	26	52	4,549	46%	42	57	275	28%	2.6	43
県南西部	2,289	37%	27	53	2,949	30%	35	49	511	51%	6.0	50
高梁・新見	320	5%	22	44	580	6%	39	53	55	6%	3.7	46
真庭	130	2%	13	29	469	5%	46	60	35	4%	3.4	45
津山・英田	686	11%	21	44	1,366	14%	43	57	120	12%	3.7	46
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 33-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	313,116		22.3	(16.7)	171,021		12.2	(5.9)	88,421		6.3	(4.0)
岡山県	5,038	1.6%	20.2	49	4,740	2.8%	19.0	61	1,746	2.0%	7.0	52
県南東部	2,413	48%	22.5	50	2,066	44%	19.2	62	1,231	71%	11.5	63
県南西部	2,272	45%	26.6	53	1,698	36%	19.9	63	473	27%	5.5	48
高梁・新見	28	1%	1.9	38	189	4%	12.8	51	0	0%	0	34
真庭	0	0%	0	37	144	3%	14.1	53	0	0%	0	34
津山・英田	325	6%	10.1	43	643	14%	20.0	63	42	2%	1.3	37
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 33-14 ~64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	~64歳人口			2010年を100とした ~64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした 75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162	158
岡山県	1,298,601	1,193,123	1,050,559	89	82	72	304,116	353,272	328,421	122	141	131
県南東部	642,004	596,753	528,836	91	84	75	135,768	160,973	153,225	126	150	143
県南西部	482,244	446,925	394,097	89	83	73	112,108	132,445	121,459	131	155	142
高梁・新見	34,750	28,385	23,625	78	64	53	14,008	13,978	12,300	95	94	83
真庭	26,550	22,460	19,427	80	68	59	9,913	10,522	9,374	97	103	92
津山・英田	113,053	98,600	84,574	84	73	63	32,319	35,354	32,063	101	110	100
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 33-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			総介護需要 増減率
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	
全国		10%	-30%	58%	50%
岡山県		2%	-28%	31%	27%
県南東部	地方都市型	8%	-25%	43%	38%
県南西部	地方都市型	5%	-27%	42%	36%
高梁・新見	過疎型	-30%	-47%	-17%	-19%
真庭	過疎型	-24%	-41%	-8%	-10%
津山・英田	過疎型	-16%	-37%	0%	-2%

出典 平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月
日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
平成23年度介護給付費実態調査報告 厚生労働省
平成22年度国民医療費 厚生労働省

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 33-2 岡山県 2010年→40年医療介護需要の増減予測

